

環境影響評価方法書の審査書

事業名		(仮称)三大明神風力発電事業
事業者名		株式会社ユーラスエナジーホールディングス
事業実施区域		福島県いわき市遠野町入遠野地内 他 面積:約434ha
事業 特 性	事業の内容	風力発電所設置事業 ・風力発電所出力:最大54,000kW ・風力発電機の台数:18基程度設置 ・風力発電機の概要 発電機出力:約3,000kW級 ブレード枚数:3枚 ローター径:約80~103m ハブ高:75~80m 高さ:115~130m
	工事の内容	○工事工程 工事開始時期:平成29年4月(予定) 運転開始時期:平成31年3月(予定) ○工事概要 道路工事:輸送路拡幅工事、仮設道路・管理用道路工事 造成・基礎工事:風車組立ヤード造成工事、基礎工事 据付工事:風力発電機据付工事(風車組立) 電気工事:自営送電線工事、連系変電施設工事
地 域 特 性	大気質	対象事業実施区域及びその周囲には、一般大気測定局及び自動車排出ガス測定局は存在していない。また、有害大気汚染物質及びダイオキシン類の測定も実施されていない。いわき市においては、平成23年度を除き、例年20~30件程度の大気汚染に係る苦情が寄せられている。
	騒音・超低周波音	対象事業実施区域及びその周囲では、一般環境騒音及び自動車交通騒音の調査地点は存在していない。また、航空機騒音に係る調査は実施されていない。なお、いわき市においては、平成23年度を除き、例年30件程度の騒音に係る苦情が寄せられている。 福島県では、超低周波音のモニタリング調査は実施されていない。対象事業実施区域及びその周囲では、超低周波音の測定は実施されていない。いわき市では、超低周波音に係る苦情の発生件数の集計はされていない。
	振動	福島県では、振動のモニタリング調査は実施されておらず、対象事業実施区域及びその周囲では、振動の測定は実施されていない。いわき市においては、例年数件程度の振動に係る苦情が寄せられている。
	水質及び底質	対象事業実施区域及びその周囲では、人の健康の保護に関する項目は藤原川愛谷川橋で測定が実施されており、測定結果は全ての項目で環境基準を達成している。生活環境の保全に関する項目は好間川岩穴つり橋等3地点で測定が実施されており、3地点とも水素イオン濃度(pH)、溶存酸素量(DO)、生物化学的酸素要求量(BOD)及び浮遊物質量(SS)は環境基準を達成している。一方、そのうち2地点において、大腸菌群数は環境基準を達成していない。いわき市においては、例年10~20件程度の水質汚濁に係る苦情が寄せられている。対象事業実施区域及びその周囲では、水底の底質に係る健康項目及び生活環境項目の測定は実施されていない。また、いわき市において、水底の底質に係る苦情の発生状況は集計されていない。

<p>地形・地質</p>	<p>(1)地形の状況 対象事業実施区域及びその周囲は、福島県浜通り地方と中通り地方の間を南北に横断する阿武隈高地を構成する山地の一つとなっている。対象事業実施区域は中起伏山地となっており、その周囲は小起伏山地、山麓地、砂礫台地(下位)が主な地形となっている。</p> <p>(2)地質の状況 対象事業実施区域の表層地質は大分類では深成岩及び変成岩となっており、小分類では緑色片岩類、花崗閃緑岩(古期)、斑レイ岩質岩石及び黒色・緑色片岩類が主な地質となっている。また、対象事業実施区域の南東側から北西にかけて、断層の存在が確認されている。</p> <p>(3)重要な地形・地質 対象事業実施区域及びその周囲では、「日本の典型地形」によって選定された典型地形として、湯ノ岳断層、大利及び阿武隈高地が存在する。「文化財保護法」及び「福島県文化財保護条例」等における名勝及び天然記念物や、「日本の地形レッドデータブック 第1集 ―危機にある地形―」及び「日本の地形レッドデータブック 第2集 ―保存すべき地形―」によって選定された保存すべき地形は存在しない。</p>
<p>動物</p>	<p>対象事業実施区域及びその周囲では、動物相として哺乳類12種、鳥類91種、爬虫類9種、両生類16種、昆虫類332種、魚類51種、底生動物9種が確認されている。うち、重要な種として、哺乳類1種、鳥類23種、爬虫類7種、両生類2種、昆虫類26種、魚類16種、底生動物0種がある。</p> <p>重要な生息地としてイヌワシの生息地、クマタカの生息地、オオタカの営巣地、夏井川-高崎地点、入遠野ダムが存在する。対象事業実施区域は、イヌワシの一時生息、オオタカの繁殖が不明とされているメッシュに位置する。</p>
<p>植物</p>	<p>文献その他の資料により確認された植物は計111科509種である。それらの確認された植物のうち、重要種の選定基準に該当したのは61種であり、主な種としては、ミズニラ、カニクサ、アオホラゴケ等が挙げられる。</p> <p>対象事業実施区域の現存植生は、常緑針葉樹植林が大半を占め、その他、カスミザクラ-コナラ群落、コナラ群落、アカマツ群落、伐跡群落、造成地が分布する。</p> <p>対象事業実施区域及びその周囲において、入定溪谷のケヤキ林、好間川溪谷の照葉樹林、御齊所山の照葉樹及び夏緑広葉樹混交林の3箇所の重要な植物群落が分布する。対象事業実施区域及びその周囲において、8箇所の巨樹・巨木林が存在するが、対象事業実施区域には巨樹・巨木林は分布しない。</p>
<p>生態系</p>	<p>対象事業実施区域は、ほとんどが樹林環境に類型区分される。</p> <p>文献その他の資料調査によると、対象事業実施区域及びその周囲において、小玉ダム(こだま湖)など16箇所の重要な自然環境のまとまりの場が分布する。対象事業実施区域には保安林が分布する。</p>
<p>景観</p>	<p>対象事業実施区域及びその周囲は、比較的なだらかな山地を形成する阿武隈丘陵の南部の太平洋に面した東側の縁に位置し、主な景観構成要素は、比較的起伏が小さい山地上に広がる樹林と、その間を流れる河川により形成された谷地形に広がる水田・畑地となる。特に、対象事業実施区域近傍は、湯の岳-三大明神山-二つ石山-鶴石山-馬場山と連なる標高600m~750m程度の山々からなる尾根線を中心に北東斜面、南西斜面に広がる樹林と、北側の夏井川水系の好間川及び南側の鮫川水系の入遠野川を中心にそれぞれの合流する支流沿いの谷地形に広がる水田・畑地が景観構成要素となっている。</p> <p>対象事業実施区域及びその周囲において、景観資源としては、夏井川溪谷などの河川景観や、鶴石山などの山地(非火山性)景観が位置している。</p> <p>また、主要な眺望点としては、水石山や滝富士などの10地点が位置している。</p>
<p>人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>対象事業実施区域及びその周囲では、鮫川溪谷等の溪谷や往生山の山桜等の桜の名所が多く存在している。また、湯ノ岳から三大明神山や水石山を經由してこだま湖に至るルートは、近年、縦走路として利用されている。</p>

<p style="text-align: center;">廃棄物等</p>	<p>対象事業実施区域が位置するいわき市の、平成25年度における一般廃棄物の総排出量は137,946tとなっている。対象事業実施区域から半径50km以内には、119件の中間処理施設と15件の最終処理施設が存在しており、その内、いわき市内には34件の中間処理施設と6件の最終処理施設が存在している。</p>
<p style="text-align: center;">その他 (教育・医療・福祉施設の配置状況、公園指定等環境保全地域区域指定状況、既設風力設置状況等)</p>	<p>対象事業実施区域及びその周囲では、対象事業実施区域から南西約3kmの場所に幼稚園、中学校及び知的障害者援護施設が位置している。また、遠野町上根本地区及び遠野町入遠野地区では対象事業実施区域近傍に住宅が存在している。その他に対象事業実施区域の周囲には、遠野町入遠野地区、遠野町深山田地区、常磐藤原町地区及び三和町合戸地区に集落が存在している。対象事業実施区域の南西約15kmに同事業者の「(仮称)田人風力発電事業」の計画地がある。</p>
<p style="text-align: center;">環境影響評価の項目</p> <p style="text-align: center;">参考項目との差異</p>	<p style="text-align: center;">別紙参照</p>
<p style="text-align: center;">調査・予測・評価の手法</p>	<p style="text-align: center;">方法書第6章(P215～280)参照</p>
<p style="text-align: center;">住民意見の概要及び事業者見解・関係都道府県知事意見</p>	<p>住民意見の概要及び事業者見解:資料3-2-3参照 関係都道府県知事意見:資料3-2-4参照</p>
<p style="text-align: center;">審査結果</p>	<p>環境審査顧問会風力部会の意見を聞いた上、対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法について必要な意見を記載する。</p>
<p style="text-align: center;">備考</p>	<p>本審査書は事業者から届出された環境影響評価方法書を基に作成したものである。</p>

環境影響評価の選定項目

環境要素の区分			影響要因の区分		工事の実施			土地または工作物の存在及び供用	
			の搬出入	工事用資材等	稼働	建設機械の	造成等の施工による一時的な影響	地形の変更及び施設の存在	施設の稼働
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として、調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	窒素酸化物	○	○				
			粉じん等	○	○				
		騒音及び超低周波音	騒音	○	○				○
			超低周波音						○
		振動	振動	○	×				
	水環境	水質	水の濁り		×	○			
		底質	有害物質		×				
	その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質					×	
			風車の影						○
		その他	電波障害						○
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地(海域に生息するものを除く)				○		○	
		海域に生息する動物				×	×		
	植物	重要な種及び重要な群落(海域に生育するものを除く)				○	○		
		海域に生育する植物				×	×		
	生態系	地域を特徴づける生態系				○		○	
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観					○		
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場		○			○		
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	産業廃棄物				○			
		残土				○			
一般環境中の放射性物質		放射線の量		×	×	×			

- ※ ○：「改正主務省令」に記載のある参考項目であり、本事業による環境影響が想定されるため、環境要素として選定する項目
 ×：「改正主務省令」に記載のある参考項目及び放射性物質に係る参考項目であるが、参考項目に関する環境影響がないかまたは環境影響の程度が極めて小さいことが明らかであるか、対象事業実施区域又はその周囲に参考項目に関する環境影響を受ける地域その他の対象が相当期間存在しないことが明らかであるため、環境要素として選定しない項目